

♪ ヴンダーリヒの再来！ ノーブルな美声のテノール♪

望月哲也 リーダーアーベント



デビュー当時からその類稀なる美声で脚光を浴びていた望月哲也。透明感溢れる声で宗教曲では欠かせない存在になっているほか、2006年4月には高名な演出家ペーター・コンヴィチニーとのコラボレーションで注目された東京二期会『皇帝ティトの慈悲』でもタイトルロール役で絶賛を浴びたのは記憶に新しいところです。

更なる研鑽を積んでいるウィーンでは往年の名テノール、故エルンスト・ヘフリガーに師事し、その薫陶を受けて歌声にいっそうの深みと輝きが加わりました。確立された品格のある歌唱スタイルはまさにヴンダーリヒの再来を髣髴(ほうふつ)とさせるものがあります。

帰国を果たす2008年秋以降は、シューマンやシューベルト、R.シュトラウスなどといったドイツ本流の歌曲群で、ウィーン留学の成果が十二分に発揮されることは間違ありません。ドイツ・オーストリア芸術の神髄を聴かせてくれる、まさに「魂のレベル」での歌唱にご期待ください。

望月哲也 リーダーアーベント プログラム(案)

[パターンA]

■ブラームスの歌曲より

■R.シュトラウスの歌曲より

■シューマン／ 歌曲集《詩人の恋》 Op.48 (全曲)

[パターンB]

■ シューベルト／ 歌曲集《美しき水車小屋の娘》D795 (全曲)



ファースト・アルバム「イル・ミオ・テソーロ」

■Profile 望月 哲也(もちづき てつや) テノール

東京芸術大学卒業。同大学大学院、二期会オペラスタジオ修了。第70回日本音楽コンクール第2位。これまでに小澤征爾音楽塾オペラプロジェクト、宮本亜門演出二期会『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、新国/二期会『ナクス島のアリアドネ』スカラムツォ、二期会『魔笛』タミーノ等に出演。最近ではハンブルク州立歌劇場/東京二期会共同制作『皇帝ティトの慈悲』で主役を演じ、コンヴィチニーの演出意図を見事に表現して満場の喝采を浴びた。その声質から宗教曲も得意とし、サヴァリッシュやアシュケナージとシューベルトの「ミサ曲」やモーツァルトの「レクイエム」で共演、好評を博した。07年2年連続で「NHKニューイヤーオペラコンサート」にも出演した。天性のリリックな美声と堅実な音楽性は若手の中でも群を抜く。06年10月に2枚めのCD「アマリッリ」をリリース。現在はウィーンに居を構え更なる研鑽を積む。二期会会員

- 出演料：お問い合わせください。
地方公演の場合、別途旅費・滞在費

◇◆お問合せ◆◇

株式会社二期会21

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-25-12 Tel: 03-3796-4711 Fax: 03-3796-4710